

建築復興支援センター設置

東北3県の単位会と連携

日事連 復興対策を全面支援

日本建築士事務所協会
連合会（三栖邦博会長）
は、岩手、宮城、福島
の東北3県の建築士事務所
協会に建築復興支援セン
ターを設置し、各会の災
害復興対策を全面的に支

援する。

今回の東日本大震災の被害は広大で甚大であり、特に岩手、宮城、福島3県の単位会は、単体会だけでは存分な復旧、復興活動を進めていくには困難な状況と考えられる。そこで、日事連としても、これらの単体会の復旧、復興活動を全面的に支援し、単体会と日事連が連携して、強力に復旧、復興に取り組んでいくことが重要であり、その意義は大きい。

このため、被災地のうち特に大規模に被災した岩手・宮城・福島の3単体会について、期待される復興業務等を円滑に進めるため、日事連が全面的にバックアップを行うことを表わした「建築復興支援センター」を関係単体会に設置することに、様々な支援策を進め

ることとした。同センターは、阪神・淡路大震災後の日事連の対応として、兵庫県の単体会と設置し、被災者などから高い評価を得た「建築復興センター」を参考とし、日事連と単体会が連携して行う復興支援策として実施するもの。

センターの業務内容は、▽被災者の建築相談に対する支援▽復旧・復興に向けた建築士事務所技術力向上に対する支援▽復興まちづくりや各種防災イベントに対する支援▽建築行政の協力・連携▽広報——などで、詳細は各地域の状況に応じ、各単体会が具体的業務内容を定めて実施し、その費用を一定限度

6.21 建設産業新聞

の範囲内について、3年間日事連が負担する。きょう21日にも、それぞれの事務所オープンする。

三栖会長は、今回の取組を通じ、「地域社会の要請に応え、被災者の力になりたい」と述べている。